



中国でのワクチン接種について

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
副所長 清水 賢一

1. はじめに

中国政府は4月21日、新型コロナウイルスワクチンの国内接種回数が2億回を超えたと発表しました。上海では、外国人に対するワクチン接種が既に始まっています。私も当事務所(上海市長寧区)に近い、上海市同仁病院にてワクチン接種を受けました。外国人を対象としたワクチン接種は4月3日から開始され、既に接種したという駐在員も多くいます。ワクチンは中国製で、原則2回の接種が必要です。1回目の接種の翌日には2回目の接種の予約もスムーズに完了しました。

今回は、中国のワクチン接種について、私の体験を交えて紹介いたします。

2. ワクチン接種の申し込みから接種まで

ワクチン接種の申し込みは、オンラインで常時予約が可能で、予約状況の確認やキャンセルをすることもできます。スマートフォンでQRコードを読み取り、必要事項を入力すると接種日時が予約できる仕組みです。1時間に約300人が接種できると言われており、外国人は月曜日と土曜日のみの接種となっています。

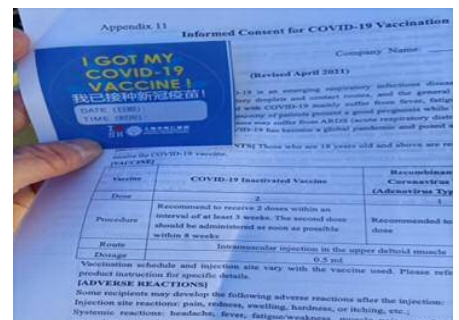
同病院では、「受付」「会計」「接種」「観察」の4つのエリアが設けられていました。まず、入口でパスポートや予約証明を提示します。受付はボランティアが英語で対応しており、アレルギーの有無や妊婦かどうかの問診等を受け、承諾書にサインし会計を済ませます。接種費用は100元(約1,600円)です(私は社会保険を納付していないため有料での接種でした)。会計後、ワクチン接種ルームで医師に予約証明を提示し、ワクチン接種を受けます。その後、観察エリアで30分待機し、終了となります。受付から終了までかかった時間はおよそ1時間でした。

注意事項として、接種後24時間以内はお酒と入浴を控えること、更に1週間は海鮮物や辛い食べ物など刺激物は控えるように掲示がされていました。

数日前にはワクチンを接種した韓国人女性急死のニュースがあり、さらに、接種された方々から「接種した夜に気分が悪くなった」、「接種翌日に肩が上がらなかった」、「接種翌日に微熱が出た」等の話も聞いていたため少々緊張しての接種となりましたが、今のところ特段症状もなく安心しています。



【受付後、会計手続きへ：筆者撮影】



【確認書・同意書：筆者撮影】

3. 「健康コード」(アプリ)による情報管理

当事務所が入る国際貿易中心ビルでは毎日、全ての入館者がスマートフォンの「健康コード」を提示し入館します。現在、中国の至るところで入館・通行の際に「健康コード」の提示が必要となっています。

国家衛生健康委員会の局長が健康コードのシステムについて、「PCR検査やワクチン接種、中・高リスク地域への訪問の有無に関する情報を自動的に集約し、個人の感染履歴や感染者との接触履歴、移動履歴などビッグデータを活用し反映させている」と説明しています。中国において、国家が本人の申告なしで個人情報を収集することに特段驚きはなく、個人的にはコロナ禍における「安心・安全」に繋がるのであれば構わないと思っています。

4. おわりに

日本のゴールデンウィークと同じように、中国でも5月1日の労働節から5連休となり、中国国内の旅行者は過去最高の2億人突破との観測が発表されました。4~5つ星の比較的高級なホテルの予約が取りづらく、長距離あるいは地域をまたぐ旅行が人気という特徴に加え、家族旅行も大きく増加し、1人当たりの旅行料金が4,800元(約7万7千円)に上昇するなど、新型コロナウイルス感染症の国内抑え込みを受けた反動需要という見方もありますが、新型コロナウイルスの影響がなかった2019年を上回っており、観光業や流通・サービス業の業績押し上げが見込まれています。

中国政府は海外との人の往来を再開させるため、中国版「国際旅行健康証明」を導入し、国際的な相互認証システムの普及を目指していると言われています。中国共産党の機関紙『人民日報』系の『環球時報』(英語版、4月8日付)では、中国は韓国やシンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンとワクチン接種歴やコロナ陰性証明を表示する「ヘルスコード」を相互に認証する仕組みを検討し、世界規模のワクチンパスポートに繋げていくとの報道もあります。中国とアセアン諸国連合との貿易は拡大傾向にあり、人の往来をいち早く再開させ、コロナ抑え込み後の仕組み作りにも余念がないように思えます。

日本でも感染封じ込めと早期のワクチン接種が実現し、一日も早く自由な往来が実現できる日を願っております。

以上

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp